

作成日 2016年06月15日
改訂日 2017年10月04日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

| | |
|------------|------------------------------|
| 製品の名称 | チヨダウレタンシール |
| 会社名 | チヨダウーテ株式会社 |
| 住所 | 〒510-8570 三重県三重郡川越町高松 928 番地 |
| 担当部門 | 技術本部 |
| 電話番号 | 059-363-5555 |
| FAX 番号 | 059-363-5553 |
| 推奨及び使用上の制限 | せっこうボードの隙間充填材としての使用を推奨する。 |
| 整理番号 | No.CU-185 |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

| | |
|------------------|--------|
| 皮膚腐食性・刺激性 | 区分 2 |
| 眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 | 区分 1 |
| 発がん性 | 区分 2 |
| 特定標的臓器毒性 (単回暴露) | 区分 1,2 |
| 特定標的臓器毒性 (反復暴露) | 区分 1 |

GHS ラベル要素



注意喚起後：危険

危険有害性情報

重篤な眼の損傷
発がんのおそれの疑い
単回暴露により呼吸器/呼吸器系の障害
単回暴露により消化器/消化器系、全身毒性の障害のおそれ
長期又は反復暴露による臓器呼吸器/呼吸器系、肺の障害

【安全対策】

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わない事。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避ける事。
粉塵・煙・ガス・蒸気の吸入を避ける事。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用する事。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない事。
汚染された衣類は、再使用する場合は洗濯する。

【応急処置】

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、清浄な水でうがい、洗浄を行い除去する。呼吸症状が出た場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合、清浄な水と石鹼で洗う。

眼に入った場合、水で数分間水洗する。刺激が続く場合、医師の診断を受ける事。コンタクトレンズを容易に外せる場合は、外して洗う事。

【保管】

水漏れを避け、常温常湿の屋内で施錠して保管する事。

【廃棄】

当製品は特別管理産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物で、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名又は一般名 ポリウレタン系一液形シーリング材

| 成分名 | 含有量[%] | CAS No. | 化審法番号 |
|------------|--------|------------|---------|
| ウレタン樹脂 | 40～50 | 非公開/未登録 | 非公開/未登録 |
| 無機質充填材 | 40～50 | 非公開/未登録 | 非公開/未登録 |
| ※酸化カルシウム | 1～5 | 1305-78-8 | (1)-189 |
| ※酸化チタン(IV) | 1～5 | 13463-67-7 | (1)-558 |

※安衛法「通知すべき有害物」該当成分に当たります。

4. 応急措置

吸入した場合 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、清浄な水でうがい、洗浄を行い除去する。呼吸症状が出た場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗う。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受ける。

眼に入った場合 水で数分間水洗する。コンタクトレンズ着用の場合は、容易であればはずして水洗する。

飲み込んだ場合 口をすすぎ、直ちに医師に連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤 通常の消火剤（炭酸ガス、泡、粉末）
使ってはならない消火剤 知見なし
消火を行う者の保護 防火服／防災服／耐火服を着用する。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 皮膚に触れたり、眼に入らない様に注意して

| | |
|-----------------|---------------------------------------|
| 保護具及び緊急時措置 | 回収する。 作業時は必要に応じて不浸透性手袋などの保護具を着用する。 |
| 環境に対する注意事項 | 漏出物を直接河川や下水に流さない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | ヘラなどで掬い上げて回収し、知事認可の廃棄物処理業者に委託する。 |
| 二次災害の防止策 | 漏出物を回収する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|----------|---|
| 技術的対策 | 粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないよう、必要な個人保護具を着用する。 |
| 安全取扱注意事項 | 使用前に取扱説明書を入手する。 取扱う前に全ての安全注意を読み、理解する。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用する事。 |
| 接触回避 | 必要に応じ、保護手袋、防護メガネ、防塵マスクなどを着用する。 |
| 衛生対策 | 作業後は洗顔、手洗を行うこと。 この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。 汚染された衣類は、再使用する場合は洗濯する。 |

保管

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| 安全な保管条件 | 施錠して保管する。直射日光を避け容器を密閉し、5℃～35℃で保管する。 |
| 安全な容器包装材料 | 包装・容器の規制は無いが、容器の移し替えは避けることが望ましい。 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|-----------|--|
| 設備対策 | 排気・排出装置の設置が望ましい |
| 管理濃度 | 知見なし |
| 許容濃度 | (酸化カルシウム) ACGIH(1990) TWA: 2mg/m ³ (上気道刺激) |
| | (酸化チタン (IV)) ACGIH(1992) TWA: 10mg/m ³ (上気道刺激) |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | 必要に応じマスクを着用する。 |
| 手の保護具 | 保護手袋を着用する。 |
| 眼の保護具 | 保護メガネを着用する。 |
| 皮膚及び体の保護具 | 保護衣を着用する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----|-------|
| 外観等 | ペースト状 |
| 臭い | ほぼ無臭 |

| | |
|-------------|----------------------|
| 沸点 | データなし |
| 引火点 | 126℃ |
| 爆発範囲の上限・下限 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 比重（密度） | 1.4g/cm ³ |
| 溶解度 | |
| （酸化カルシウム） | 1.2g/L(HSDB, 2004) |
| （酸化チタン（IV）） | 不溶(HSDB, 2004) |
| （無機質充填材） | 不溶(ICSC, 1999) |
| 自然発火温度 | データなし |
| 分解温度 | データなし |

1 0. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------|
| 反応性，化学的安定性 | 通常の取扱い条件で安定 |
| 危険有害反応可能性 | 知見なし |
| 避けるべき条件 | 知見なし |
| 混触危険物質 | 知見なし |
| 危険有害な分解生成物 | 知見なし |

1 1. 有害性情報

| | |
|---------------------------|--|
| 急性毒性 | |
| 経口毒性成分データ | |
| （酸化カルシウム） | mouse LD50 = 3059 mg/kg (RTECS(2004), JP_ID739) |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | |
| （酸化チタン（IV））ヒト | 0.3mg/3D-I; MILD |
| （無機質充填材）ラビット | 500mg/24h; MODERATE |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | |
| （無機質充填材）ラビット | 0.75mg/24h; SEVERE |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし |
| 発がん性 | |
| （酸化チタン（IV））IARC-Gr.2B | ヒトに対して発がん性があるかもしれない。 |
| （酸化チタン（IV））ACGIH-A4(1992) | ヒト発がん性として分類できない。 |
| 生殖毒性 | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性，単回ばく露 | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性，反復ばく露 | 情報なし |
| 吸引力呼吸器有害性 | 情報なし |

1 2. 環境影響情報

| | |
|------------------------|------------------------------------|
| 生態毒性 | |
| （酸化カルシウム）魚類（コイ） | LC50=1070mg/L/96h (IUCLID, 2000) |
| （酸化チタン（IV））甲殻類（オオミジンコ） | EC50 > 1000mg/L/48h (AQUIRE, 2003) |

| | |
|-----------|-------------|
| 残留性・分解性 | 混合物としての知見なし |
| 生体蓄積性 | 混合物としての知見なし |
| 土壌中の移動性 | 混合物としての知見なし |
| オゾン層への有害性 | 混合物としての知見なし |

1 3. 廃棄場の注意

残余廃棄物

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、特別管理産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物で、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託する。使い切った後の容器は、接着剤が乾燥固化していれば、産業廃棄物の金属屑と廃プラスチック類の混合物となる。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 該当しない

海洋汚染物質

海洋汚染防止法 有害液体物質(Z類): 酸化チタン(IV);無機質充填材

国内規制

輸送の特別の安全対策及び条件

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・破損がない様に取り扱い、荷崩れの防止を確実に行う。消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

1 5. 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

化管法 分類基準に該当しない。

安衛法

名称表示危険/有害物 (令 18 条) 酸化カルシウム;酸化チタン(IV)

名称通知危険/有害物 (第 57 条の 2、令第 18 条の 2 別表 9)

酸化カルシウム;酸化チタン(IV)

毒劇法 分類基準に該当しない。

消防法 非危険物 指定可燃物 (合成樹脂類) 指定数量 3,000kg

1 6. その他の情報

日本工業規格 JIS A5758 認証品

JIS 認証番号: CE0608004

ホルムアルデヒド基準

(日本シーリング材工業会)ホルムアルデヒド汚染対策の為の自主管理規定

JSIA843002 F ☆☆☆☆

参考文献

職場の安全サイト (厚生労働省)

化学物質排出把握管理促進法 (METI-経済産業省)

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 15th

edit.UN

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDBOOK(US DOT)

2009 TLVs and BEIs.(ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7253(2012年)「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示および安全データシート」

JIS Z 7253:2012 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

NITE 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(化学物質総合情報提供システム)
よくわかる SDS ラベル作成実務入門(GMS、JIS Z 7253 対応)

責任の限定について

- ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全データシートの目的は当該製品を安全に取り扱っていただくための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
- 十分な情報が得られなかった成分については、全ての項目を分類できないとしております。
- 記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いをする場合は、用途に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において取扱いをお願いします。